

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0150480036		
法人名	医療法人 北武会		
事業所名	グループホーム ほくと		
所在地	札幌市手稲区手稲本町3条4丁目2番5号		
自己評価作成日	平成23年 2月17日	評価結果市町村受理日	平成23年3月31日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://77.system-kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=0150480036&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成23年 3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一階には運営母体法人の内科クリニックがあり、看護師によるオンコール対応等、利用者様ご家族様にとっては安心頂いています。又ワンフロアに2ユニットがあるため、昼夜共にお互い協力し合っています。職員の定着率も高いため、個々の希望を主に担当職員が把握し、外出行事の希望は職員調整、車の手配等、諸条件を考慮しながら行い、又、ご家族様の協力のもと取り入れるようにしています。外部からの伝統芸ボランティア等を導入し生活に張りのあるよう工夫をし、ご家族様・知人等気軽に面会しやすい雰囲気作り、職員の笑顔、先とり挨拶等、利用者様・ご家族様が笑顔で過ごせるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

運営母体の医療機関併設のため、日常の健康管理や緊急体制が整っており、ワンフロア2ユニットにより緊急時や夜間対応できる体制のため利用者、家族の安心感は強い。管理者は常に利用者本意のケアを第一に掲げており、職員も皆明るく穏やかで、ケアへの問題意識を高く掲げるなど個々の思いを大切にケアに取り組む様子が強く感じられる。利用者には、毎食事時の挨拶、毎日のメニュー書き、新聞の読み聞かせ、暦めくりなど利用者のできる力を日常の生活に取り入れている。職員のレベルアップ研修会や勉強会にも力を入れている。運営推進会議が年6回開催されており、活発に意見交換されている様子が議事録から窺える。家族とは、年2回のアンケート調査や意見箱、来訪時などを通して要望・意見を頂き、ケアの向上に努めている。町内会や地域住民との関係も良好で町内会の行事やホームの行事への参加など相互交流等、日常生活を通じて地域との関係づくりを築いている。利用者の日常の暮らしや行事参加の様子などを紹介した「ほくと便り」を家族版・地域版・町内会版と三通り作成している。運営推進会議の議事録とともに「ほくと便り」を町内会への回覧、地域住民の災害訓練の参加、地域ボランティアの活用などから地域とのつながりに積極的に力を入れている様子が窺える。利用者にとっては毎日を穏やかに安心して自分のペースで生活できるグループホームである。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「家族、大切な人と交流が図れ、地域社会の一員として生活が送れる暮らし」と理念を有し地域社会の一員としてその人らしく満足した生活が送れるように理念の実践に向け一人ひとりに合ったケアをしています。	独自の理念を掲げ、職員全員が携帯用として常に身につけ、理念を共有し、日々の暮らしの中で利用者本位のサービスの実践に努めている。また地域との関係を重視したホームとしての役割を目指している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入しホーム便りを回覧して頂いています。又町内会行事として運動会や神社のお祭り等参加し、地域との交流に取り組んでいます。	町内会に加入しており、「ほくと便り」の回覧や地域の行事や祭りに利用者とともに参加している。ホームの祭りなどの行事には地域の方が参加するなど地域との交流は積極的に行なわれており、ともに支えあう関係作りに努めている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホーム便りを町内会回覧しホームの日常生活、地域を活用している様子、又地域在住のボランティアを導入し、お話し相手、イベント披露等認知症の方の理解を地域の方を通じて、活かしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではホームの報告だけにとどまらず、町内会役員等からの意見・要望を受け、地域住民合同での防火訓練を行っています。	町内会長、地域包括支援センター職員、家族、職員等を構成員として、年6回、運営推進会議を開催している。会議では、ホームの現況や地域との交流等話し合われているのが議事録から窺える。会議で出た意見、要望をサービスの質の向上に活かしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者とは積極的にサービスの取り組みを報告したり、家族を交えた話し合いの場に出席頂いたり、身元保証人と連絡不通時、保護課、社協、包括等に相談。手稲ふれあいフェスティバル参加や協力体制を築いています。	市とは、業務における相談・報告にて連携を図るとともに市からの助言、指導を得ながらサービス向上に努めている。困難事例の相談や地域包括支援センターと連携を図っており、日頃から連携を図るための努力がされている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関施錠は、日勤者退社後20時に防犯のため施錠しています。又身体拘束・言葉による拘束・その他の拘束がないが、職員会議や申し送り、ミーティングなどで話し合いを行い、ケアの取り組みをしています。	マニュアルの整備が行なわれており、身体拘束をしないケアについての情報共有を図っており、深い理解の基に取り組みがなされている。玄関においても日中は施錠せず、利用者の自由な生活に配慮している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職場内研修・外部研修参加後は職員ミーティングでの勉強会を行うなど虐待防止に努め、意識付けを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職場内研修で学ぶ機会を持ったり、実際必要性のある入居者様に生活支援を導入し活用しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は時間をかけ説明を行い、質問にも安心して頂き同意を得ています。退居による契約解除も同様に説明と同意と選択に心がけています。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者、家族の意見は、管理者や職員が随時確認し迅速な対応をしています。又年2回、アンケートを取り意見、要望を伺っています。	家族との関係性を重要視しており、家族アンケート調査や意見箱による家族からの意見・要望等の確認をしている。運営推進会議や来訪時を通じて話し合っている。挙がった意見・要望においては、真摯に受け止め、ホームの運営やサービスの質の向上に活用している。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のミーティング時や職員会議、又上司との面談などその都度、職員の意見や提案を聞き話し合っています。	会議において職員からの意見・要望・提案を確認するとともに、管理者が個別に話をする機会を設け、職員の思い等を確認している。また、申し送りノート等を活用し、情報の共有を図っている。職員全員でより良いケアに向けての質の向上に取り組んでいる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に向けて講習会参加への時間調整及び休日調整など行い、働きながら資格取得したり、資格に応じた業務内容や給与水準に努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修参加者には、復命書の提出と伝達報告会を行い研修報告書は全職員が閲覧できるようにしています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同事業所系列の行事に参加したり、当ホーム主催の行事江戸芸・出前公演等参加いただくなど系列での活動を通じ取り組んでいます。又他ホームへ見学に行くなど同業者と交流する機会も作っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前の電話相談や、本人によるホーム見学で雰囲気を感じて頂き、又本人と面談し不安や困り事等緩和し利用開始時では本人に寄り添い心穏やかに過ごせるよう関係づくりに努めています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	納得いくまでホームを見学していただき、その際お話を伺い家族の要望等汲み取り、又サービス開始時、都度、来訪時や電話でも相談・報告を行い不安を取り除けるよう関係づくりに努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前に紹介事業者や家族から情報をとり、アセスメントを行い初期対応での支援の提供に努め、必要に応じ福祉用具等利用をしています。又同法人の相談員に連携事業所への紹介なども行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできる力を活用し、日常生活に取り入れ(家事全般、新聞の見出しを他者に読み聞かせる、メニュー書きで他者に本日の献立を知らせる等)共に寄り添い支え合う関係づくりを築けるようにしています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	定期的に入居者様の身体状態などを伝え、時には他科受診に行き、本人の状況把握をして頂いています。又、本人が不穏時家族の面会の増減で気持ちの安定を図るよう相談しながら一緒に支えていく関係を築いています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様や知人が気楽にいつでも来訪できる雰囲気作り、葉書や電話等馴染みの人と関係が途切れないように、又盆、正月等自宅に戻り馴染んだ場所が途切れないよう努めています。	利用者の希望に応じて商店や公園等馴染みのある場所へ外出する機会を設けている。家族と相談しながら正月等自宅で暮らせるよう支援に努めている。地域の方の来訪時利用者との交流が行なわれている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士馴染みの関係ができるように、レクリエーションの提供や話題の提供をしています。又いつも共に生活している入居者様同士の関わり合いで、孤立することがないようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	個人情報保護のこともあり、慎重に配慮する必要があると感じているが、退居されてもご家族に電話を入れ様子を伺ったり、入院先にお見舞いに行き残念ながら亡くなられた時には弔問に伺っています。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で随時本人の希望を確認したり、季節に応じた希望はケアプランに載せたり、困難な場合は家族からの情報、生活歴等を参考にさせて頂いています。	契約時に利用者・家族から生活歴・身体状況等を聴取し記録している。日々の様子を観察し、会議にて利用者本位に検討し、本人の意向に沿った生活の支援に努めている。困難な場合は、行動やしぐさ、表情、訴えなど見極め思いや意向の把握に努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面談や個別受け持ち担当者が、センター方式を活用し本人聞き取りやご家族情報をもとに職員間で把握に努めています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりをよく観察し、ご本人の生活パターンやその日の体調に応じた現状を把握し、又入居者がその日、どのように生活したか申し送りで情報の共有に努めている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人ご家族の意向を大切にカンファレンスを行い充実した日々を過ごせるよう、その人に見合った介護計画を作成しています。	職員会議やユニット会議、カンファレンスを通して職員全員で話し合うとともに、利用者本位のその人らしさが出るように介護計画の作成に努めている。その際、本人、家族の思いを尊重し、医療関係者による意見やアドバイスを反映しながらチームでの作成に取り組んでいる。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子等を個別記録に記入し、問題点や改善策が生じた時には、センター方式を活用し計画の見直しに活かし、又個別記録とは別に引き継ぎノートにて情報を共有している。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の身体状況、ご家族様状況に応じて当グループ内での交流行事を企画するなど事業所の機能を活かした支援を行っています。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	福祉センターや地域のレストラン・施設等の利用やボランティアの導入による貼り絵・コアックマの会等楽しみながら豊かな暮らしができるよう支援しています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設のクリニックが協力医療機関でもあり、かかりつけ医でもあるため、日常の健康管理や特定健診等を受けている。クリニック休診日や夜間は専任看護師によるオンコール対応と訪問歯科診療による治療や指導を受けています。	母体医療法人の内科クリニックが1階に協力病院として併設されており、緊急時の医療連携等、協力体制が構築されており、適切な医療が安心して受けられるよう支援している。また、休診日や夜間は専任看護師によるオンコール対応となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	土・日・祭・夜間はホーム専任の看護師が、週2回の勤務の他に24時間オンコールとし、連絡可能な体制を整えています。			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院したときは、入院先の病院関係者と情報交換するよう努めています。又ご家族様とも連絡を密にし入居者様が安心して入院できるようにしています。			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居者様が重度化してきたときは、できるだけ早い時期からご家族様と話し合いをもち、かかりつけ医師や看護師を中心に方針を共有し、同法人の病院や他病院の関係者と相談し支援に取り組んでいる。	重度化や終末期の在り方については家族の意向を聞きながら、入居時などに説明しており、必要に応じて家族や医療機関と方針の共有を図っている。ホームとして「重度化した場合の対応に係る指針」を策定し文書化されており、家族の同意を得ている。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習も受けており、事故発生時における初期対応については職員会議等で知識と対応を学んでいます。又マニュアルも設置し事故発生時に備えています。			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回定期的な火災訓練の他、自主訓練も行い日中・夜間の火災発生時を想定した訓練を行っている。又地域住民を含めての消火訓練も実施しています。	年2回の消防訓練を実施しており、職員、利用者が非常時の避難方法を身に付けている。地域住民とも良好な関係にあり、消火訓練にも地域の方々の参加のもと実施している。		
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入室時のノックや、入浴・更衣介助時等プライバシー保護に努め、常に敬意・尊敬の心を持ち言葉掛けや対応をしています。	排泄や入浴への対応は、利用者の立場に立ち、羞恥心、プライバシーに配慮している。昼食時の職員の言葉かけや見守り等適切に行なわれている。利用者の尊厳を大切にされたサービスの実践に取り組んでいる。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の目線でゆっくり・優しく・ゆったりとした気持ちで働きかけ、本人の意思を尊重した支援を行っています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の意思を優先し、その人らしいペースや生活感を尊重し、外食や買い物同行など希望にそえる支援を行っています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	月1回訪問理・美容師が来ている、希望によっては他の美容室に行くこともあります。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に応じて職員とお話しをしながら楽しく力を活かし、焼き肉、ジンギスカン、南瓜団子、お好み焼き等食事を楽しみ、又、外食や出前等それぞれの嗜好品を取り入れた行事も行っています。	食の大切さを理解し、職員も利用者と一緒に楽しみながら季節感のある食事を味わい、さりげなくサポートするなど家庭的な雰囲気気が窺われた。利用者の希望や能力に応じて食事の準備、片付け、調理等を職員とともに一緒に行なっており、食に対する楽しみを提供している。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立を立て、毎日食事量・水分量を一人ひとりチェックし記録に残している。日々の状態に合わせた栄養・水分量のバランスが確保できるよう支援しています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、一人ひとりに合わせた見守りや介助を行い口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄板も使用し、一人ひとりの排泄パターンを把握し気持ちよくできる限りトイレで排泄していただくようにしています。パットを使用している方も必ずトイレ誘導を行っています。	排泄板から個々の排泄パターンの把握をしており、適切な声掛けやトイレ誘導が行えるよう努めている。排泄状況を家族や看護師と情報交換しており、不安や羞恥心、プライバシーにも配慮し、自立に向けた排泄支援に努めている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事で繊維の多い物を取り入れたり、水分摂取量の不足な方にはゼリー・果物等個別対応や、ラジオ体操・廊下歩行の運動も取り入れ、下剤だけに頼らないようにしています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者様の希望を聞き、気持ちよく・落ち着いて・安全に入浴していただくようにしています。又失禁や発汗などその時々に応じて入浴を行い清潔を保っています。	入浴は曜日を決めていないが、利用者の希望、事情、タイミング等を考慮して安全に入浴できるように柔軟に対応している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後の軽い休息や、ソファでの休息が安心という入居者様には安楽な姿勢で休んでいただくなど、一人ひとりの状況に合った支援を行っています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の管理は看護師がしています。月1回の受診時などで服薬の変更が合った場合などは、職員全員に情報がいくつファイル・ノートに記録しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味・嗜好・生活歴に合わせたお手伝いや、体操・レクへの参加・外出や季節毎の行事などで日常変化を持って頂き、気分転換や楽しみを見つけるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望時の買い物は、できる限り希望をとれるようにしている。又ユニット行事として動物園やテーマパーク等に出かけたり、ご家族様との外出も積極的に支援し遊戯施設や温泉旅行にも出かけています。	日頃から散歩、ドライブ、買い物等、外に出かける機会をつくっている。行事として、外出会を企画・実施しており、戸外での楽しみを提供している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者様、ご家族様と相談してお金の所持をしています。又買い物レクなどでご本人による金銭の精算も支援しています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様から電話をいただいたり、近況報告を兼ねた葉書のやりとりで、大切な方とのつながりを大事にできるよう支援しています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	置物・飾り物・家具などで季節感や生活感を工夫し、壁にはディスプレイをして心地よい空間作りをしています。入居者様の誕生日にはお祝いのポスターを飾り楽しんでます。又歩行器・車椅子使用では共有空間の妨げにならないよう配慮しています。	共用空間には、季節の花を飾ったり、利用者が制作した多様な作品の装飾・日ごとの暦など、季節感や生活感をふんだんに取り入れている。ソファや椅子など用意され居心地良く過ごせる落ち着いた雰囲気づくりがされている。また五感刺激の配慮もされている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ・椅子・小上がりなどそれぞれのお気に入りの物を置き、居場所をつくり自由に思い思い過ごせるよう工夫しています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の家具はご本人とご家族様に用意していただき、一人ひとりの希望に沿い居心地良く暮らせるようにしています。	居室には、利用者が使い慣れた馴染みの家具や生活に合わせた調度品を持ち込み、使い勝手の良いように配慮されている。利用者のADLに合わせた生活雑貨の収納の工夫や思い出の写真、自作品の装飾など好みに応じながら安心して過ごせる居室空間をつくっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に歩行が出来るよう手摺りを設置し、一休みもできるような椅子も置いている。又長い廊下を活用し、歩行訓練を行い身体機能の維持に努めています。		